



2014年教育・農・理（生物、地球）第3問

- 3 三角形OABにおいて、頂点A, Bにおけるそれぞれの外角の二等分線の交点をCとする。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$  とするとき、次の問いに答えよ。

(1) 点Pが $\angle AOB$ の二等分線上にあるとき、

$$\overrightarrow{OP} = t \left( \frac{\overrightarrow{a}}{|\vec{a}|} + \frac{\overrightarrow{b}}{|\vec{b}|} \right)$$

となる実数tが存在することを示せ。

(2)  $|\vec{a}| = 7$ ,  $|\vec{b}| = 5$ ,  $\vec{a} \cdot \vec{b} = 5$ のとき、 $\overrightarrow{OC}$ を $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ を用いて表せ。